

「令和6年能登半島地震」について(第5報)

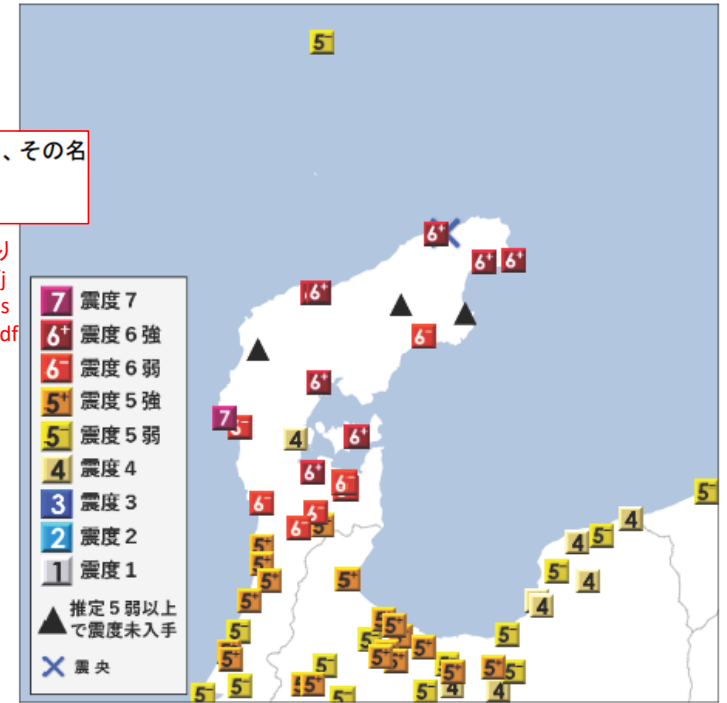
## 地震の概要

検知時刻 <small>(最初に地震を検知した時刻)</small>	1月1日16時10分
発生時刻 <small>(地震が発生した時刻)</small>	1月1日16時10分
マグニチュード	7.6(暫定値)
発生場所	石川県能登地方(輪島の東北東30km付近) 深さ 16km(暫定値)
発震機構	北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)
震度	【最大震度7】石川県の志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強~1を観測
地震活動の状況 2日09時00分現在	1日16時以降、震度1以上を観測した地震が147回発生(震度7:1回 震度5強:3回 震度5弱:5回 震度4:20回 震度3:57回 震度2:61回)
長周期地震動の観測状況	石川県能登で長周期地震動階級4を観測

気象庁では、石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と決めました。

気象庁のwebページより  
[https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/01b/kaisetsu202401011810\\_2.pdf](https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/01b/kaisetsu202401011810_2.pdf)

【各観測点の震度】



1月1日16時24分発表

令和6年1月1日16時10分頃の石川県能登地方の地震について

気象庁のwebページより <https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/02c/kaisetsu202401021015.pdf>

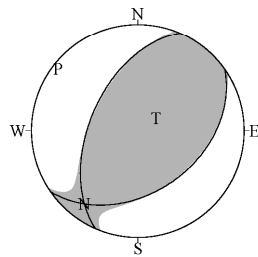
## 発震機構解

01011610

北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解(速報)]

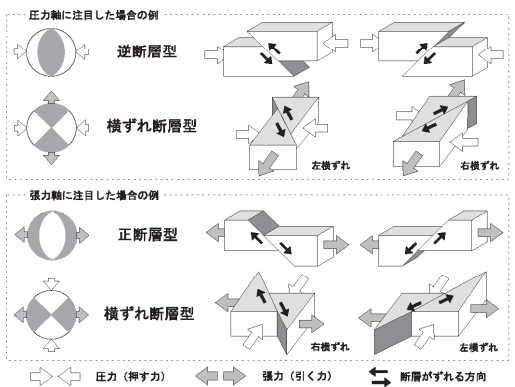
Mw=7.5



下半球等積投影法で描画  
P: 圧力軸の方向  
T: 張力軸の方向

セントロイドの位置  
北緯 37度20分  
東経 137度18分  
深さ 約10km  
※セントロイドの位置とは、地震の断層運動を1点で代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について



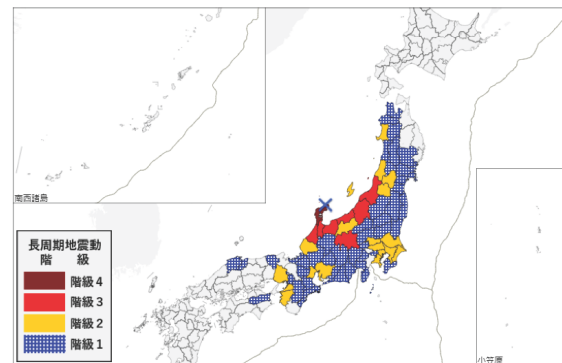
気象庁作成

気象庁のwebページより <https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/01a/kaisetsu202401011810.pdf>

## 長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級4	石川県能登
階級3	石川県加賀 新潟県上越 新潟県中越 新潟県下越 富山県東部 富山県西部 長野県中部

1月1日16時23分発表



**階級4**

立っていることができない

**階級2**

物につかまりたいと感じる

**階級3**

立っていることが困難

**階級1**

ほとんどの人が揺れを感じる

令和6年1月1日16時10分頃の石川県能登地方の地震について

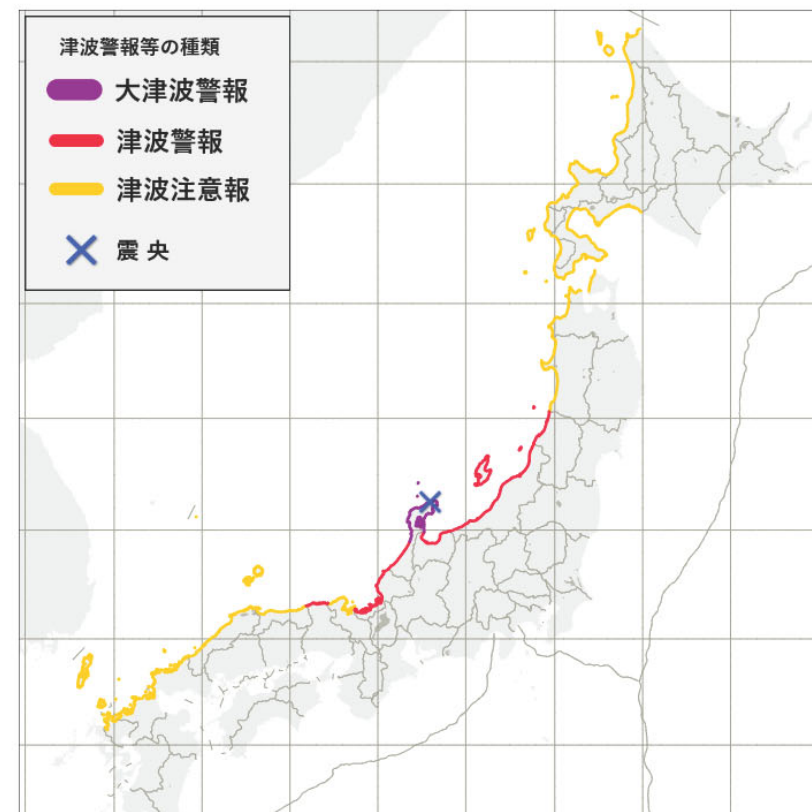
# 津波警報等の発表状況

大津波警報  
石川県能登

津波警報  
山形県 新潟県上中下越 佐渡 富山県  
石川県加賀 福井県 兵庫県北部

津波注意報  
北海道太平洋沿岸西部 北海道日本海沿岸北部  
北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 秋田県  
京都府 鳥取県 島根県出雲・石見 隠岐  
山口県日本海沿岸 福岡県日本海沿岸 佐賀県北部  
壱岐・対馬

1月1日16時22分発表



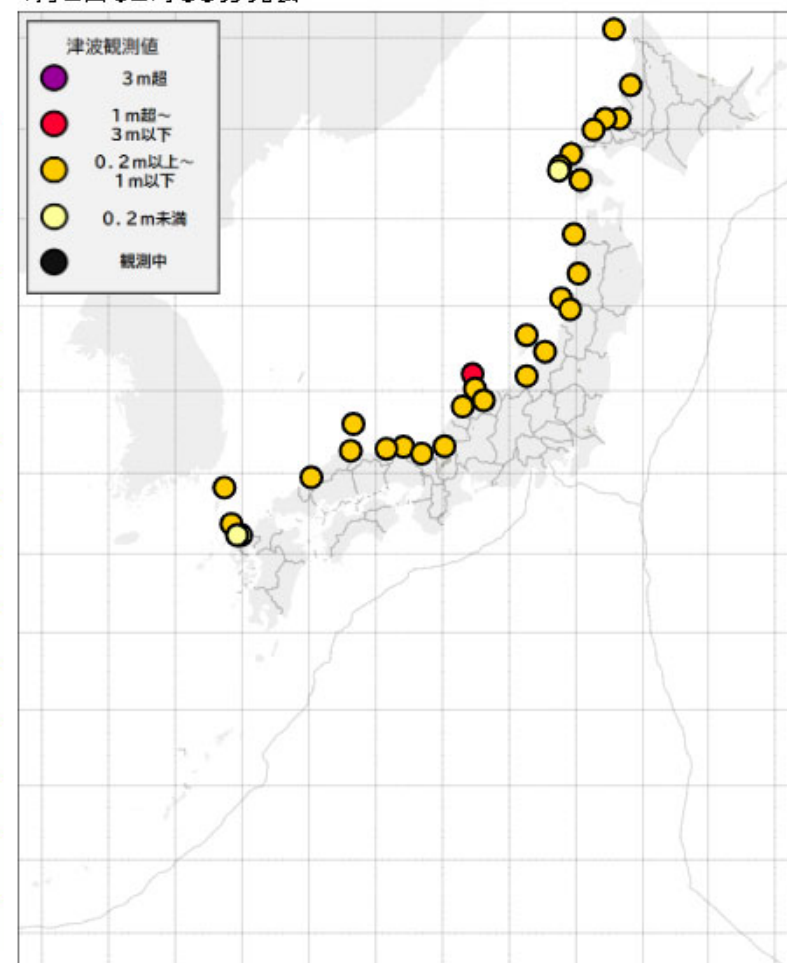
「令和6年能登半島地震」について(第5報)

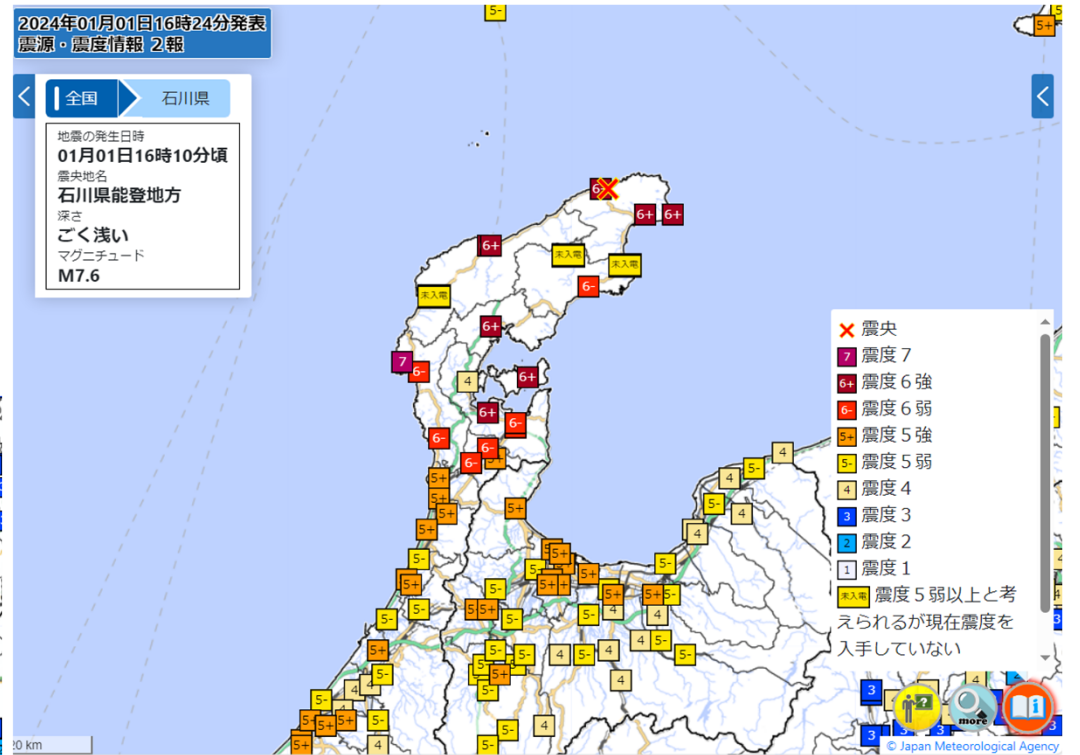
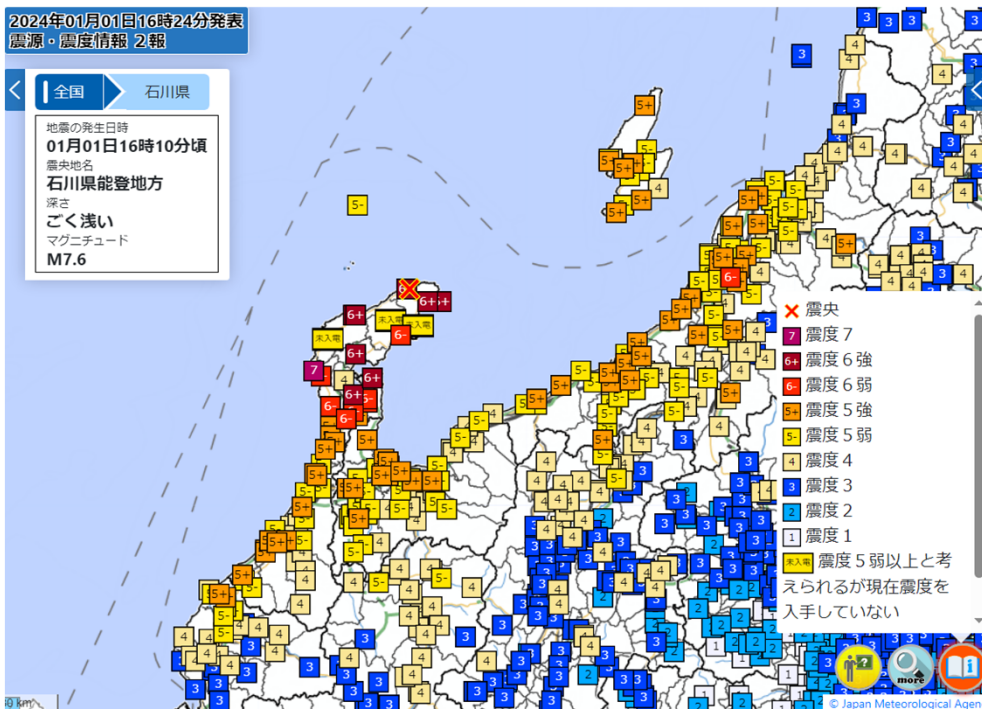
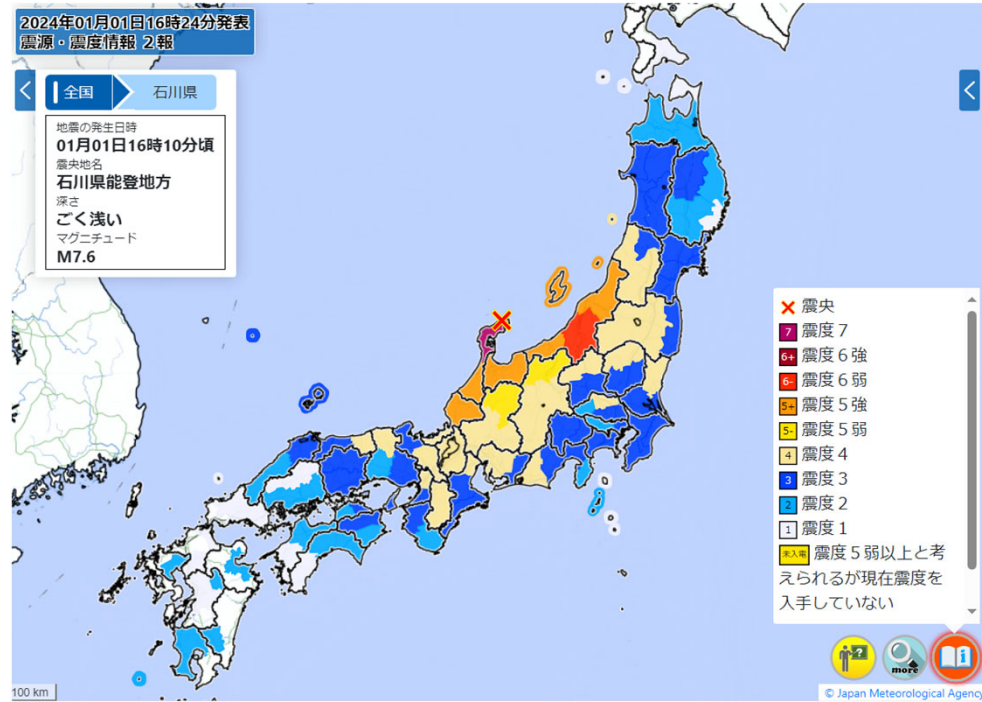
## 津波の観測状況

## 【主な観測点の観測値】

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
輪島港	石川県能登	1日16:10	1日16:21	1.2m以上
金沢	石川県加賀	--	1日19:09	0.9m
酒田	山形県	1日17:12	1日19:08	0.8m
富山	富山県	1日16:13	1日16:35	0.8m
瀬棚港	北海道日本海沿岸南部	1日17:54	1日18:26	0.6m
境港市境	鳥取県	1日18:14	1日22:30	0.6m
岩内港	北海道日本海沿岸南部	1日17:18	2日00:26	0.5m
奥尻島奥尻港	北海道日本海沿岸南部	--	1日18:07	0.5m
七尾港	石川県能登	1日16:37	1日18:59	0.5m
敦賀港	福井県	1日17:33	1日20:28	0.5m
飛島	山形県	1日16:57	1日17:52	0.4m
柏崎市鯨波	新潟県上中下越	1日16:31	1日16:36	0.4m
舞鶴	京都府	--	2日00:43	0.4m
豊岡市津居山	兵庫県北部	--	1日19:20	0.4m

1月2日02時33分発表





気象庁のwebページより

[https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=earthquake\\_volcano&area\\_type=offices&area\\_code=170000](https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=earthquake_volcano&area_type=offices&area_code=170000)

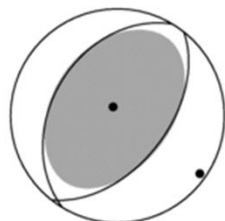
## F-net 地震のメカニズム情報【詳細】

### ■ 気象庁による震源情報

地震発生時刻 (JST)	緯度 (°)	経度 (°)	震源地名	深さ (km)	Mj
2024/01/01,16:10	37.5	137.2	石川県能登地方	ごく浅い	7.4

### ■ 手動メカニズム推定結果

緯度 (°)	経度 (°)	深さ (km)	走向 (°)	傾斜 (°)	すべり角 (°)	M <sub>0</sub> (Nm)	M <sub>w</sub>	品質
37.5	137.2	20	211 ; 38	38 ; 52	84 ; 95	2.76e+20	7.6	85.06



**M<sub>w</sub>** = 7.6      **Var. Red** = 85.06  
**M<sub>0</sub> [Nm]** = 2.76e+20      **Percent DC** = 77  
**NP1: (211, 38, 84)**      **Percent CLVD** = 23  
**NP2: ( 38, 52, 95)**      **Variance** = 1.86e-02      — Obs.  
    **RES/Pdc.** = 2.42e-04      ..... Syn.

Tangential

Radial

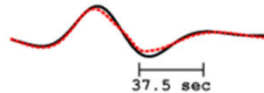
Vertical



ASI\_f0.02.data\_BH,115 Max Amp=1.65e+00 cm VR=89.0



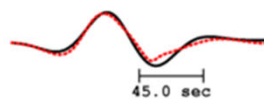
Max Amp=1.65e+00 cm VR=89.0



KNY\_f0.02.data\_BH,165 Max Amp=9.52e-01 cm VR=82.1



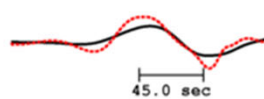
Max Amp=9.52e-01 cm VR=82.1



KMT\_f0.02.data\_BH,201 Max Amp=3.26e-01 cm VR=63.7

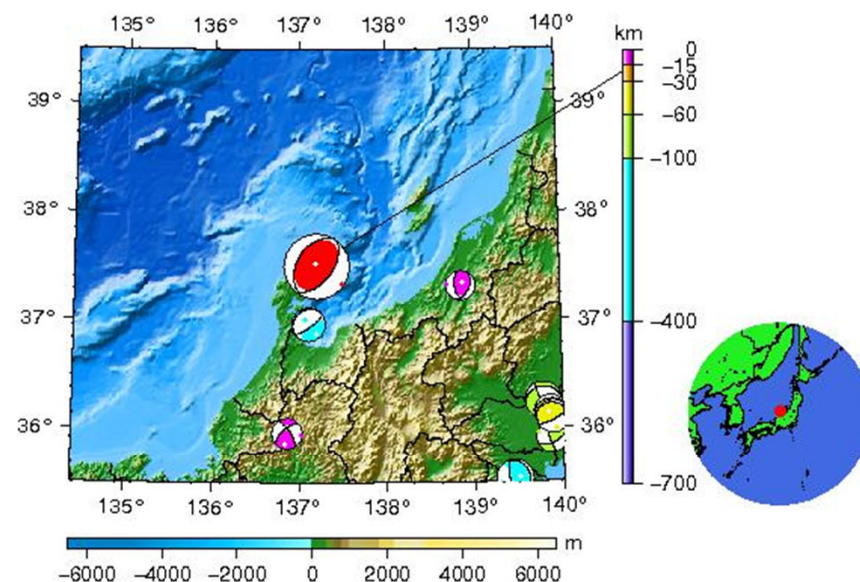


Max Amp=3.26e-01 cm VR=63.7



### ■ 周辺の地震活動 詳細版

2023/10/03,16:10:39.00 - 2024/01/01,16:10:39.00 (JST) N=12



波形データ取得

### ■ 地震波形

- |            |                      |             |                      |
|------------|----------------------|-------------|----------------------|
| 01. TTO 高遠 | <a href="#">波形画像</a> | 02. ONS 鬼石  | <a href="#">波形画像</a> |
| 03. ASI 足尾 | <a href="#">波形画像</a> | 04. NAA 旭   | <a href="#">波形画像</a> |
| 05. TGA 多賀 | <a href="#">波形画像</a> | 06. YAS 弥栄  | <a href="#">波形画像</a> |
| 07. KNY 金谷 | <a href="#">波形画像</a> | 08. KMT 上富田 | <a href="#">波形画像</a> |

令和6年1月2日  
地震調査研究推進本部  
地震調査委員会

### 令和6年能登半島地震\*の評価

- 1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ約15kmでマグニチュード(M)7.6(暫定値)の地震が発生した。この地震により石川県羽咋郡(はくいぐん)志賀町(しかまち)で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測するなど、被害を伴った。また、石川県では長周期地震動階級4を観測した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。
  - 現在も活発な地震活動が継続している。1月1日以降の地震活動は北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がっており、1日16時から2日13時までの間に、最大震度1以上を観測した地震が169回(震度7:1回、震度5強:3回、震度5弱:6回)発生した。
  - 今回の地震により、輪島港(港湾局)観測点で1.2m以上、金沢(港湾局)観測点で0.9m(いずれも速報値)など、北海道から九州にかけての日本海側で津波を観測している。
  - GNS S観測によると、今回の地震に伴って、輪島観測点(国土地理院)で西南西方向に1.2m程度の変動、1.1m程度の隆起が見られるなど、能登半島を中心に広い範囲で地殻変動が観測された。また、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」が観測した合成開口レーダー画像の解析によると、輪島市西部で最大4m程度の隆起、最大1m程度の西向きの変動が検出された。
  - 1月1日に発生したM7.6の地震に伴って、志賀町のK-NET 富来(とぎ)観測点で2,828gal(三成分合成)など、大きな加速度を観測した。
  - 1月1日以降、地震活動の範囲は広がっている。揺れの強かった地域では、地震発生後1週間程度、最大震度7程度の地震に注意が必要である。特に、地震発生後2~3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くある。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要がある。
  - 今回地震が発生した石川県能登地方の地殻内では2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になっており、2021年7月頃からさらに活発になっていた。一連の地震活動において、2020年12月1日から2024年1月2日13時までに震度1以上を観測する地震が675回、このうち震度3以上を観測する地震が160回発生した。一連の地震活動において、今回の地震が最大の地震である。このほか、2023年5月5日にM6.5の地震を観測した。
  - GNS S観測の結果によると、2020年12月頃からM6.5の地震が発生するまでに、石川県珠洲(すず)市で水平方向に1cmを超える移動及び上下方向に4cm程度の隆起が見られるなど、地殻変動が観測されていた。また、GNS S観測や陸域観測技術衛星2号「だいち2号」が観測した合成開口レーダー画像の解析結果によると、M6.5の地震に伴って、震央周辺で最大20cm程度の地殻変動が見られた。M6.5の地震後に複数の観測点で見られていた地震前の傾向とは異なる変動が時間の経過とともに鈍化し、最近ではM6.5の地震が発生する前の傾向にほぼ戻っていた。
  - 一連の地震活動は、主に能登半島の北東部及び北側の海域を中心に発生していた。1月1日以降の地震活動域は、能登半島の北部を北東-南西方向に縦断し、北東側は能登半島北東海域、南西側は平成19年(2007年)能登半島地震の活動域付近まで達している。
  - 1月1日のM7.6の地震の発震機構、地震活動の分布及びGNS S観測の解析から推定される震源断層は、北東-南西に延びる150km程度の主として南東傾斜の逆断層であると考えられる。
  - 今回の地震は、昭和58年(1983年)日本海中部地震(M7.7)や、平成5年(1993年)北海道南西沖地震(M7.8)と同様に、津波を伴った日本海沿岸の大地震である。
  - 能登半島の北東沖から北岸沖の海底には、複数の活断層が存在することが知られている。これらの活断層は、概ね北東-南西の走向で、主として南東傾斜の逆断層であると推定されている。
  - これまでの地震活動及び地殻変動の状況を踏まえると、一連の地震活動は当分続くと考えられる。
- \* : 「令和6年能登半島地震」(気象庁が定めた名称)は、1月1日以降の一連の地震及び令和2年12月以降の能登地方での一連の地震活動を指す。  
注: GNS Sとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称である。

地震本部のwebページより

[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240101\\_noto\\_1.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240101_noto_1.pdf)

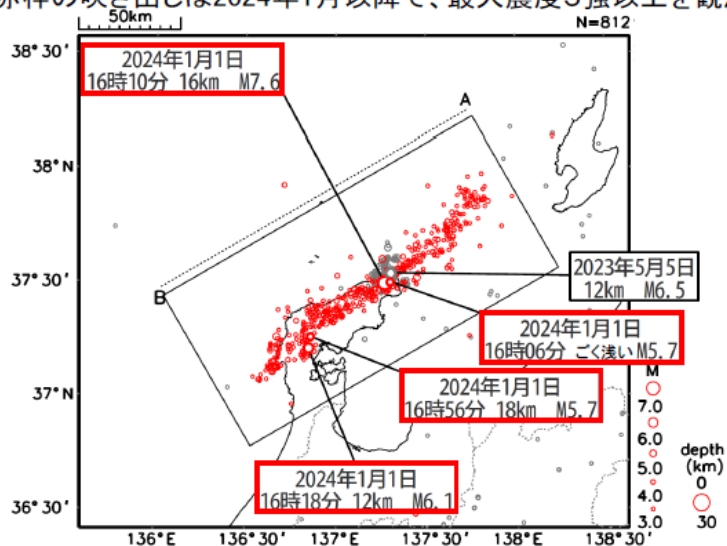
# 「令和6年能登半島地震」の地震活動 (発生場所の詳細: 広域図)

## 震央分布図

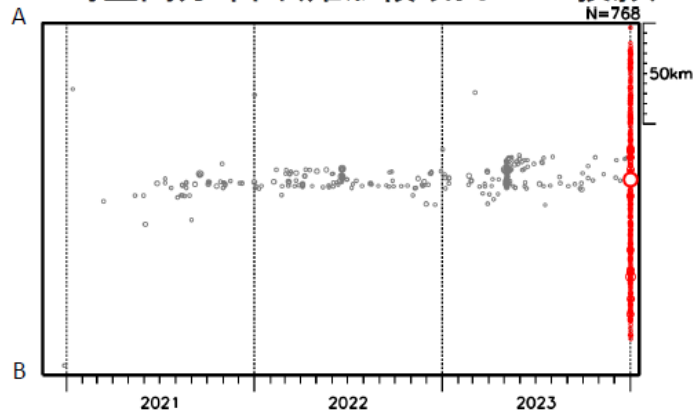
(2020年12月1日～2024年1月2日10時00分、  
深さ0～30km、M3.0以上)

2024年1月1日の地震を赤く表示

赤枠の吹き出しは2024年1月以降で、最大震度5強以上を観測



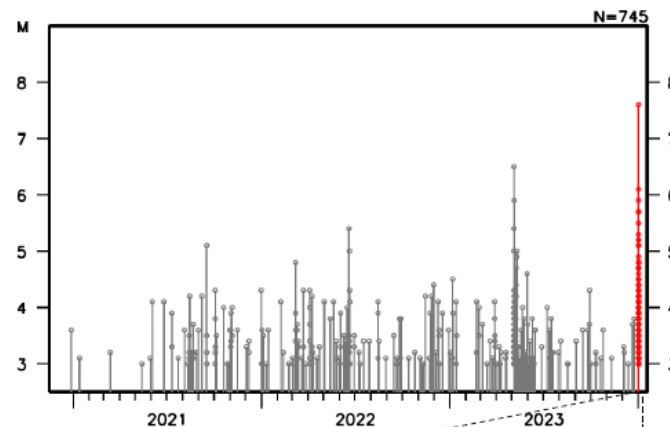
## 時空間分布図(矩形領域内:A-B投影)



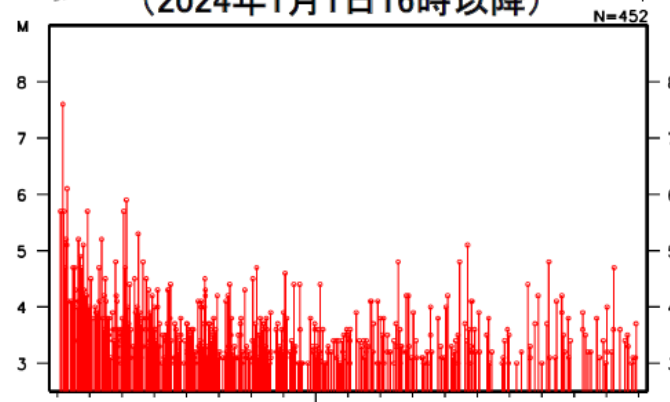
地震本部のwebページより

[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240101\\_noto\\_1.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240101_noto_1.pdf)

## 矩形領域内の地震活動経過図 (2020年12月以降)



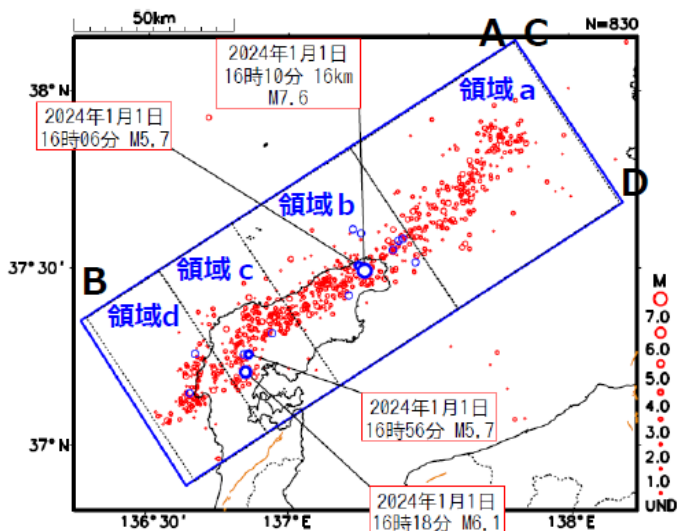
## (2024年1月1日16時以降)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。  
表示している震源は、速報値を含む。

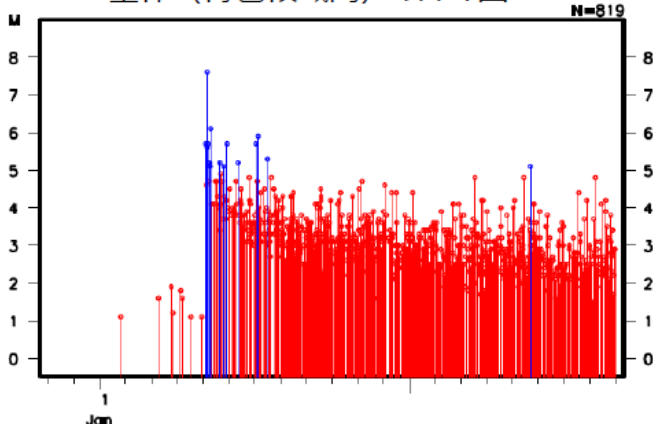
「令和6年能登半島地震」(今回の地震活動の詳細)

震央分布図  
(2024年1月1日10時00分~2日08時00分、  
深さ0~30km、M全て)



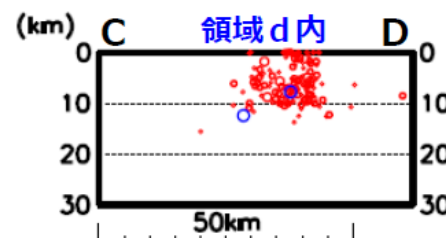
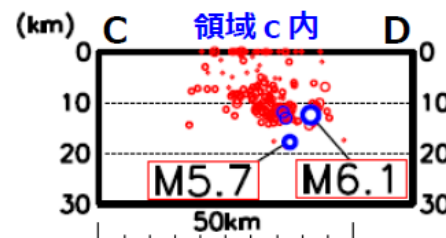
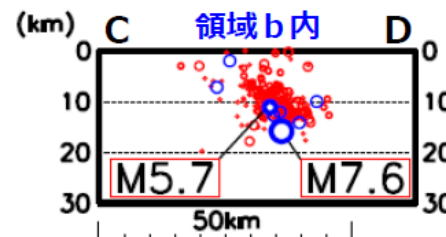
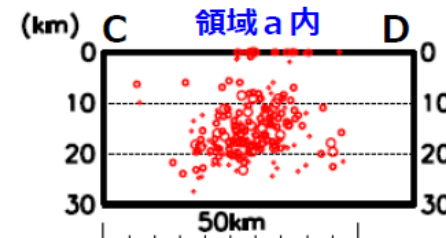
○:M5.0以上  
○:M5.0未満

全体 (青色領域内) のM-T図

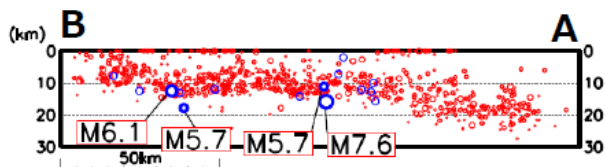


領域a~d内の地震の断面図  
(M≥2.0、C-D投影)

※縦横の長さを1.6倍で表示

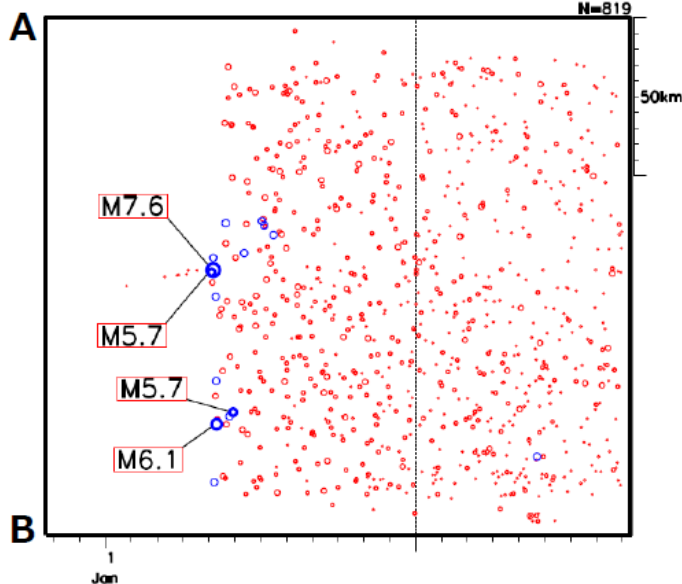


全体 (青色領域内) の断面図



※震源データは、M7.6 (暫定値) を除いて  
速報値 (自動震源を含む) を用いた。

全体 (青色領域内) の時空間分布図 (A-B投影)





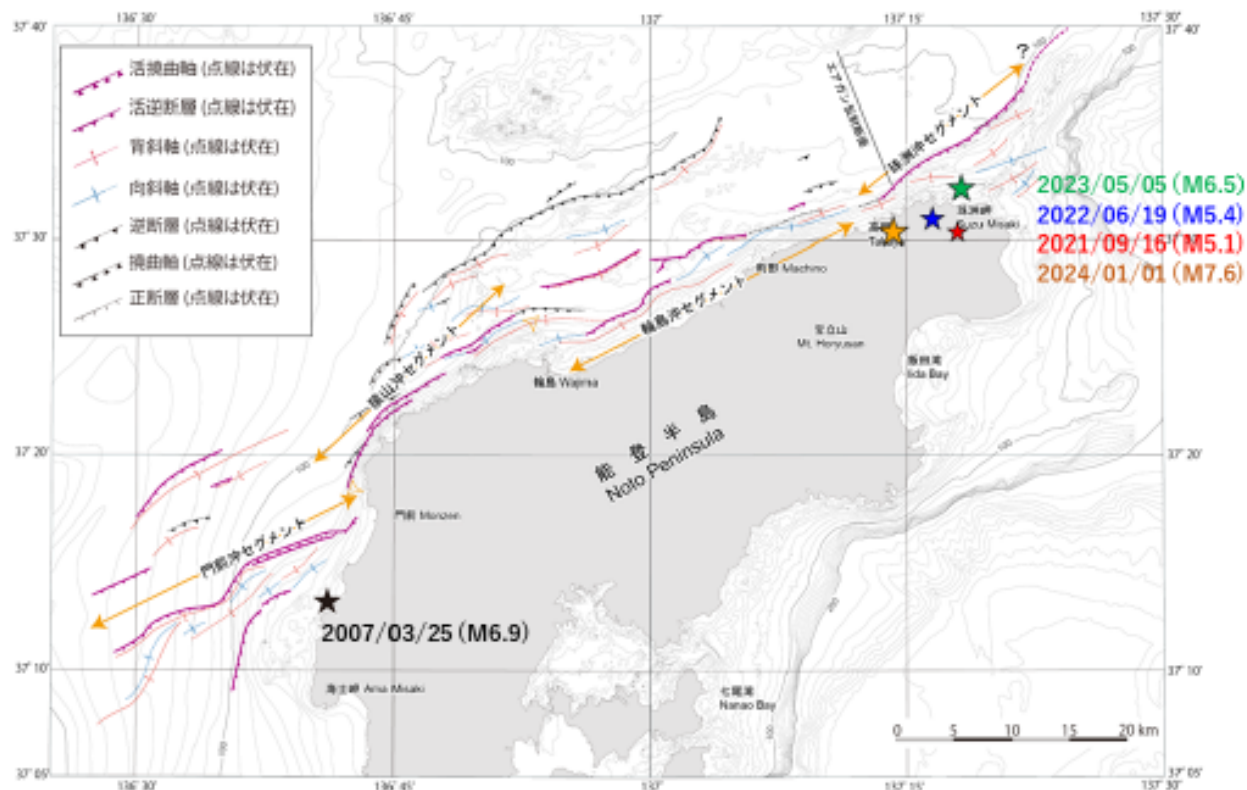


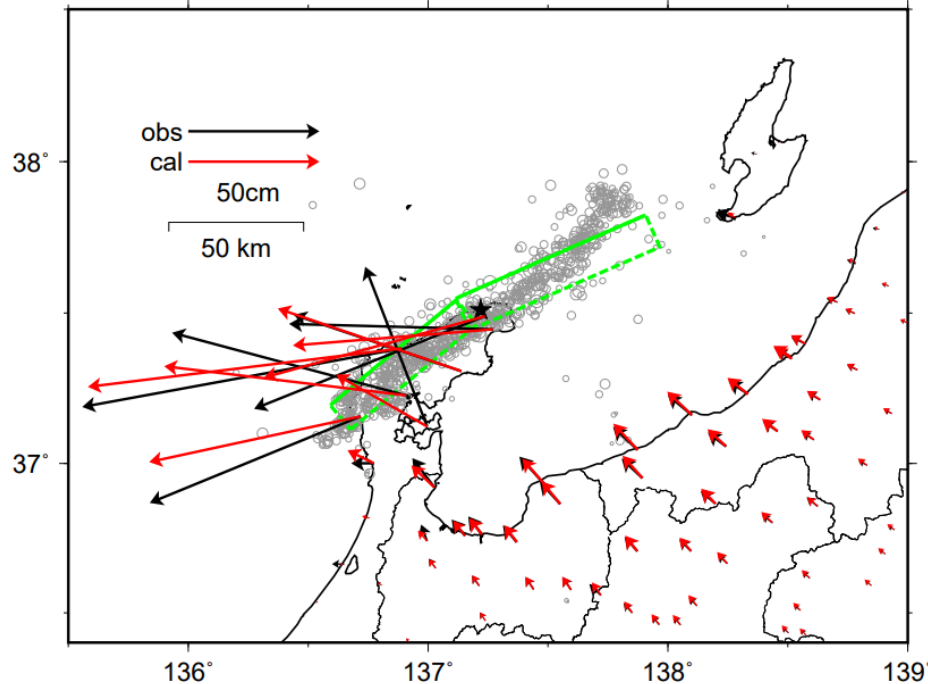
図2 能登半島北岸沖の活断層と2024年1月1日の地震の震央(オレンジ色の星)。基図は、井上・岡村(2010)を一部改変。震源位置は防災科学技術研究所による自動震源位置。参考に、気象庁一元化カタログによる2007年3月25日能登半島地震(M6.9)、2021年9月16日の地震(M5.1)、2022年6月19日の地震(M5.4)、2023年5月5日(M6.5)の震央を黒星、赤星、青星、緑星で示す。

## 令和6年能登半島地震の震源断層モデル（暫定）

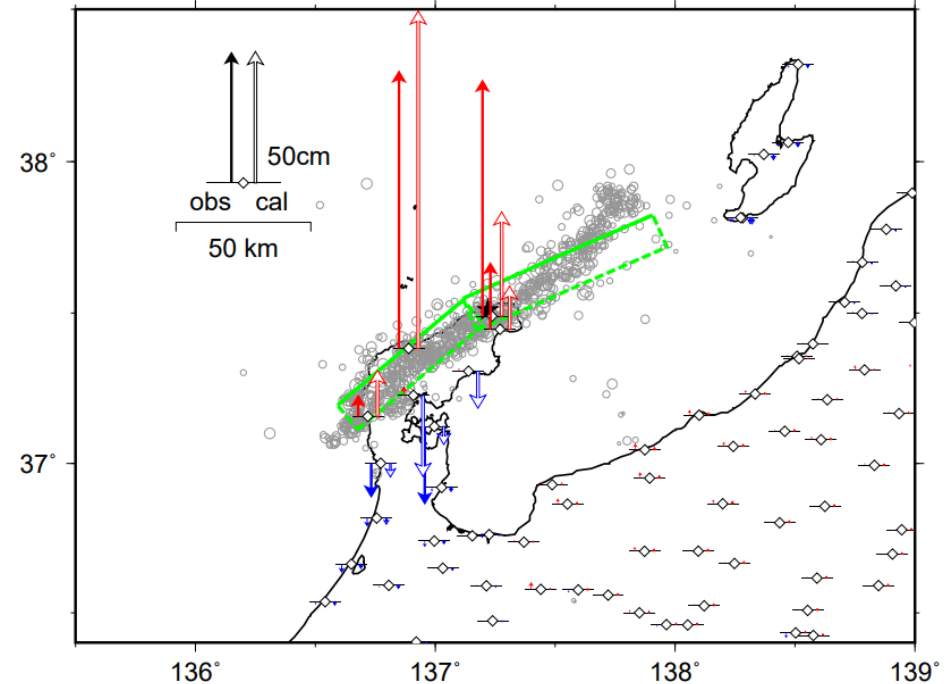
基準期間：2023年12月25日9時～2024年1月1日15時(Q5解) JST

比較期間：2024年1月1日18時～2024年1月2日6時(Q5解) JST

【水平変動の観測値と計算値の比較】



【上下変動の観測値と計算値の比較】



- ・ 黒色の星は 01-01 Mj7.6 の震源、灰色丸は震源分布（気象庁自動震源（気象庁）を使用）、2024年1月1日16時10分～1月2日11時59分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。

【推定された震源断層パラメータ】

経度	緯度	上端深さ	長さ	幅	走向	傾斜	すべり角	すべり量	$M_w$
°	°	km	km	km	°	°	°	m	
136.592	37.194	1.7	60.7	13.0	50.1	25.4	128.6	3.48	7.21
(0.004)	(0.002)	(0.3)	(0.5)	(0.3)	(0.4)	(1.2)	(0.8)	(0.04)	(0.01)
137.115	37.548	1.7	76.4	21.9	66.1	54.1	105.3	2.22	7.30
(0.004)	(0.004)	(0.3)	(2.6)	(1.4)	(2.1)	(1.0)	(0.5)	(0.11)	(0.02)

マルコフ連鎖モンテカルロ (MCMC) 法を用いてモデルパラメータを推定。括弧内は誤差 ( $1\sigma$ ) を示す。

$M_w$  と断層面積をスケールリング則 (Strasser et al., 2010) に拘束。

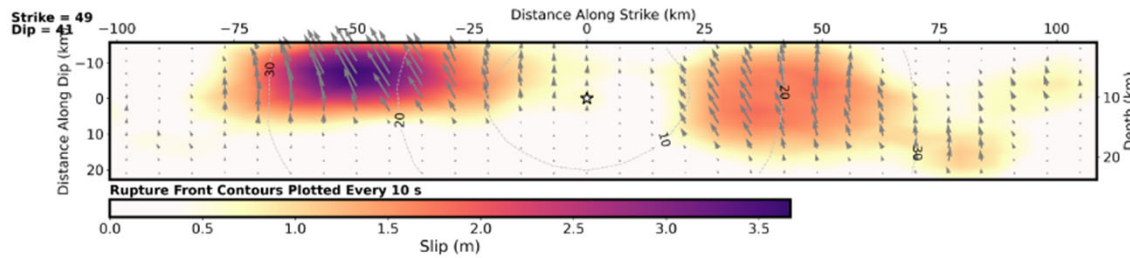
断層長さ と断層幅の比が 2:1 に近づくように拘束。

$M_w$  の計算においては、剛性率を 30GPa と仮定。2枚の断層の合計の  $M_w$  は 7.46。

## Result

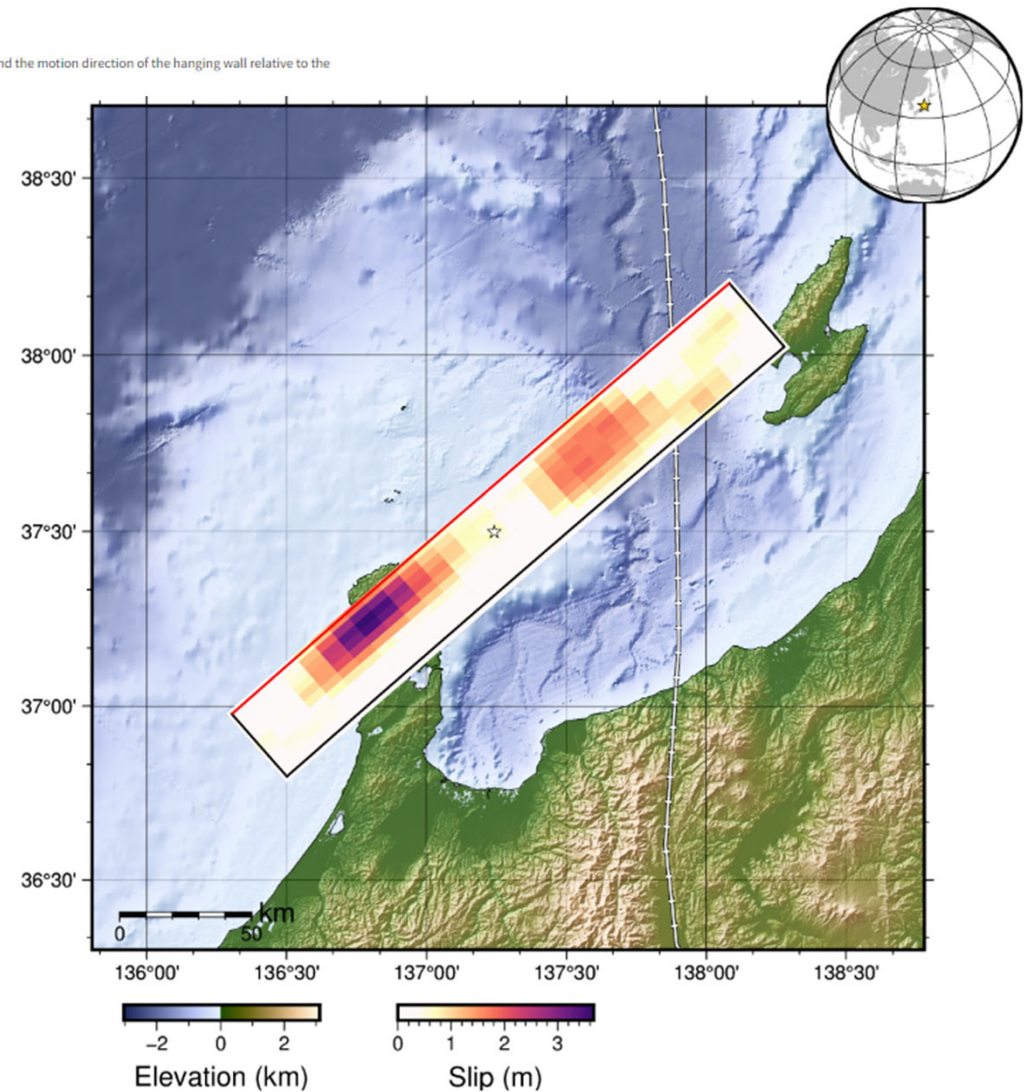
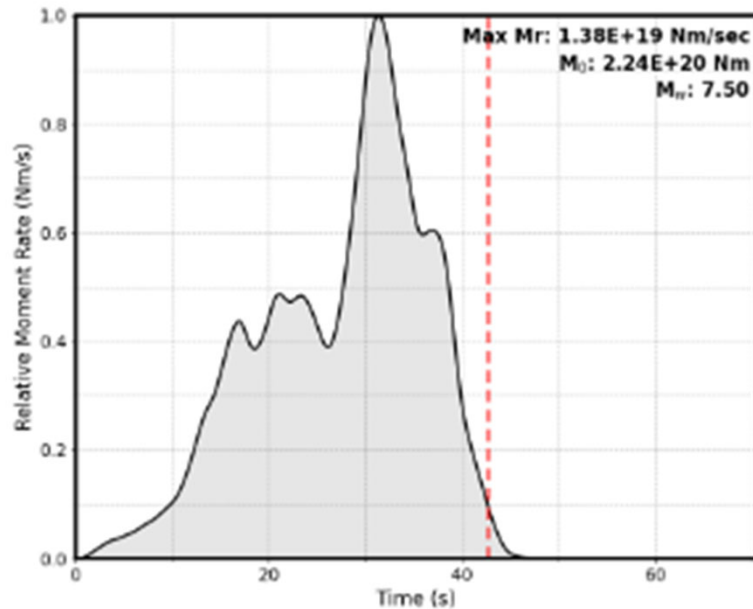
This result is based on the moment tensor nodal plane (strike = 49.0°; dip = 41.0°). The seismic moment release based upon this plane is  $2.2 \times 10^{20}$  N-m ( $M_w = 7.5$ ) using a 1D crustal model interpolated from CRUST2.0 (Bassin et al., 2000).

## Cross-section of Slip Distribution



Cross-section of slip distribution. The strike direction is indicated above each fault plane and the hypocenter location is denoted by a star. Slip amplitude is shown in color and the motion direction of the hanging wall relative to the footwall (rake angle) is indicated with arrows. Contours show the rupture initiation time in seconds.

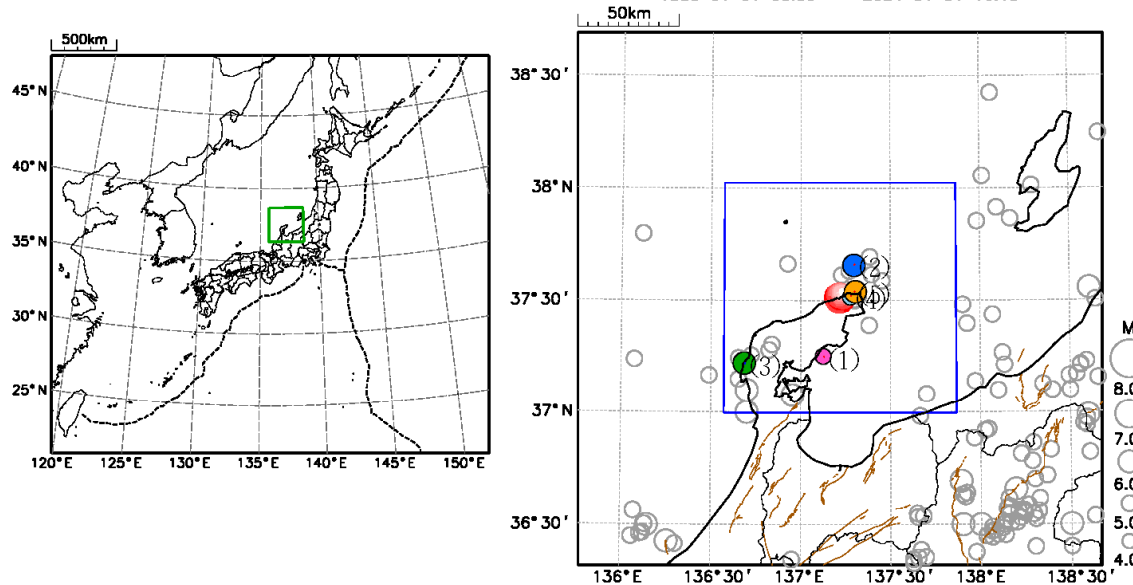
## Moment Rate Function



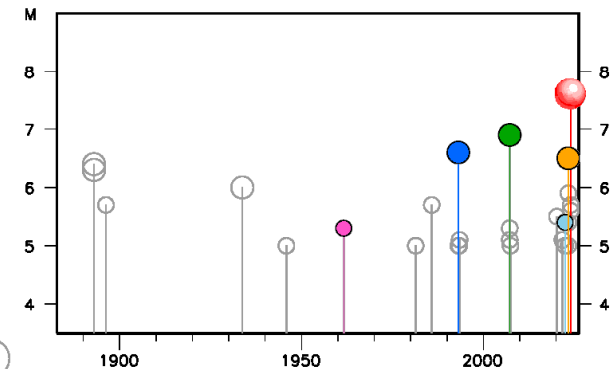
# 今回の地震周辺の過去の主な地震活動

## 震央分布図

M ≥ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km  
 今回の地震を赤く表示  
 1885 01 01 00:00 -- 2024 01 01 16:15



## 震央分布図の青色矩形内のM-T図



## 過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応  
 桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

- (1) 1961年08月10日 M:5.3 富山湾
- (2) 1993年02月07日 M:6.6 能登半島沖
- (3) 2007年03月25日 M:6.9 能登半島沖  
「平成19年（2007年）能登半島地震」
- (4) 2022年06月19日 M:5.4 石川県能登地方
- (5) 2023年05月05日 M:6.5 能登半島沖

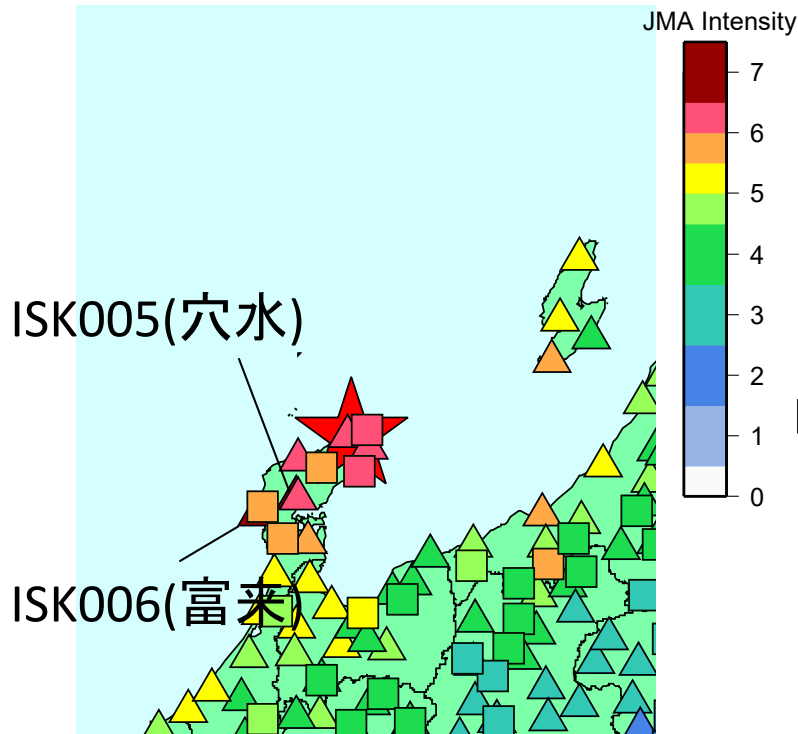
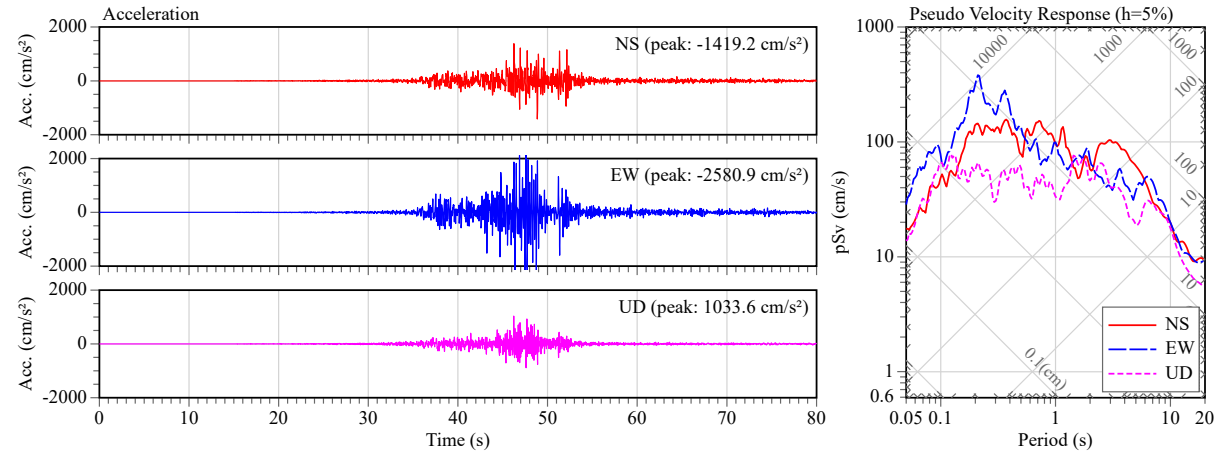
- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
  - ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
  - ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982, 1985）及び茅野・宇津（2001）による。
- <地震の名称について>
- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
  - ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
  - ・地震の名称の後ろの□は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、□内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。
- <資料の利用上の注意点>
- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
  - ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
  - ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。  
 ※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。  
 この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。  
 一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

気象庁作成

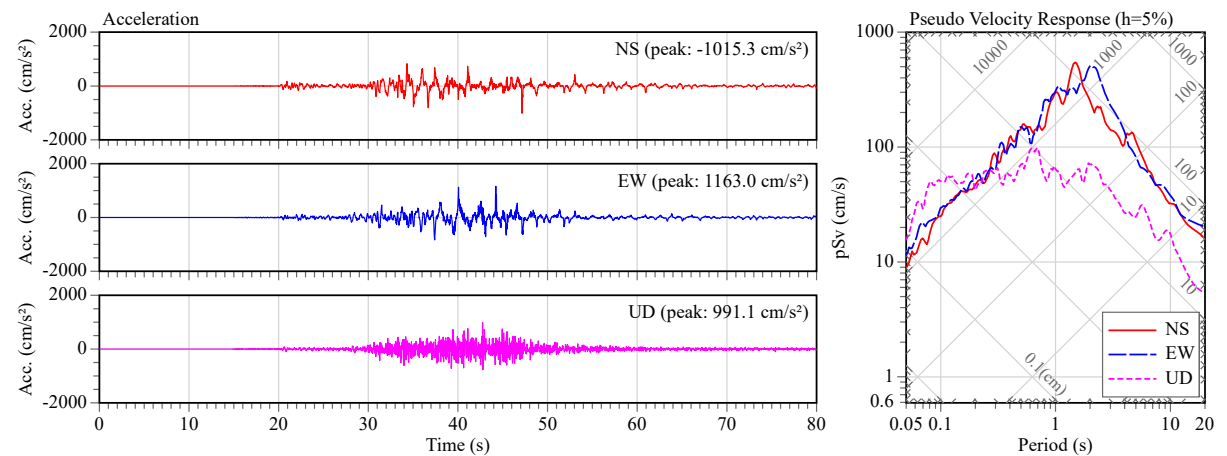
地震発生時刻(K-NET): 16時10分 (1/5)

左図: 防災科学技術研究所のwebページよりダウンロード、編集  
 中央図、右図: 防災科学技術研究所のwebページよりデータダウンロード、作図  
 防災科学技術研究所のwebページ(<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/instan/>)

ISK006(富来) 計測震度6.6 (気象庁震度7)



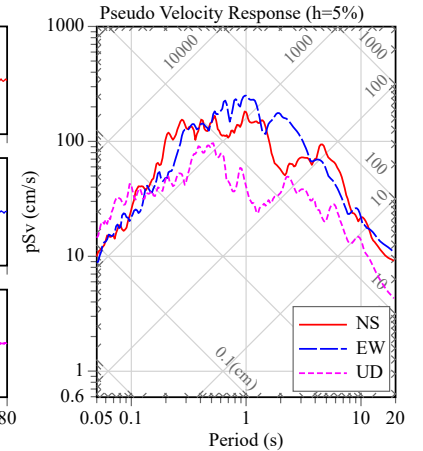
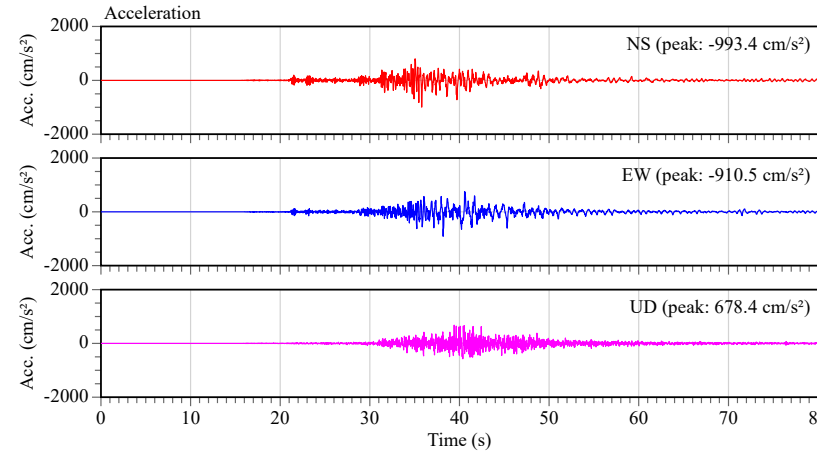
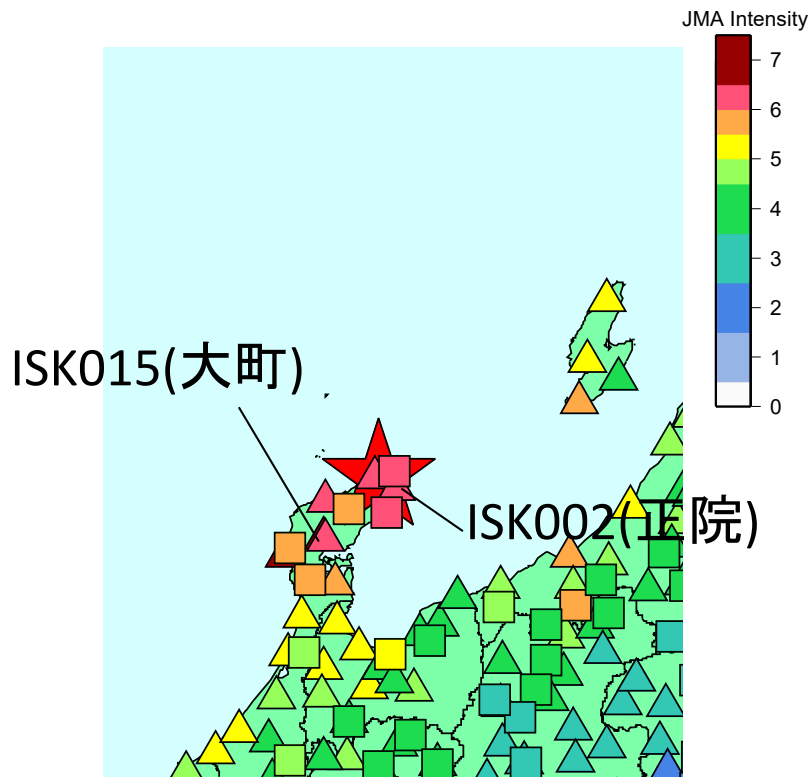
ISK005(穴水) 計測震度6.5



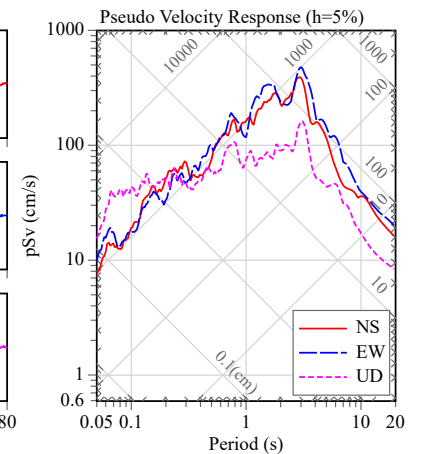
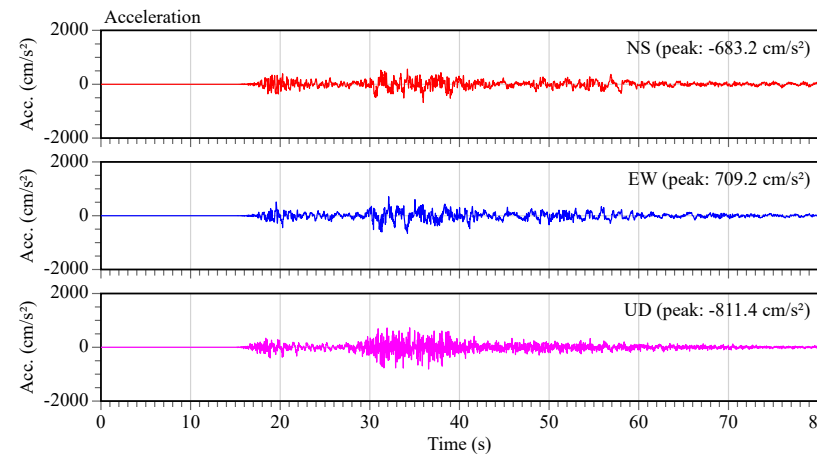
## 地震発生時刻(K-NET): 16時10分(2/5)

左図: 防災科学技術研究所のwebページよりダウンロード、編集  
 中央図、右図: 防災科学技術研究所のwebページよりデータダウンロード、作図  
 防災科学技術研究所のwebページ(<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/instan/>)

### ISK015(大町) 計測震度6.3



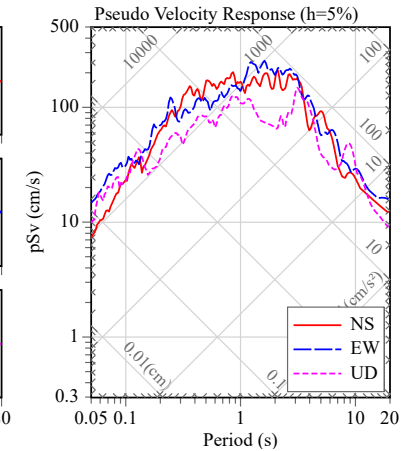
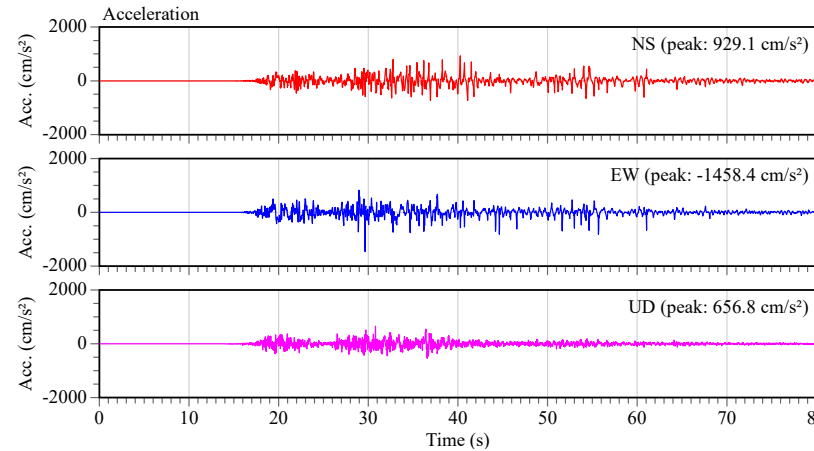
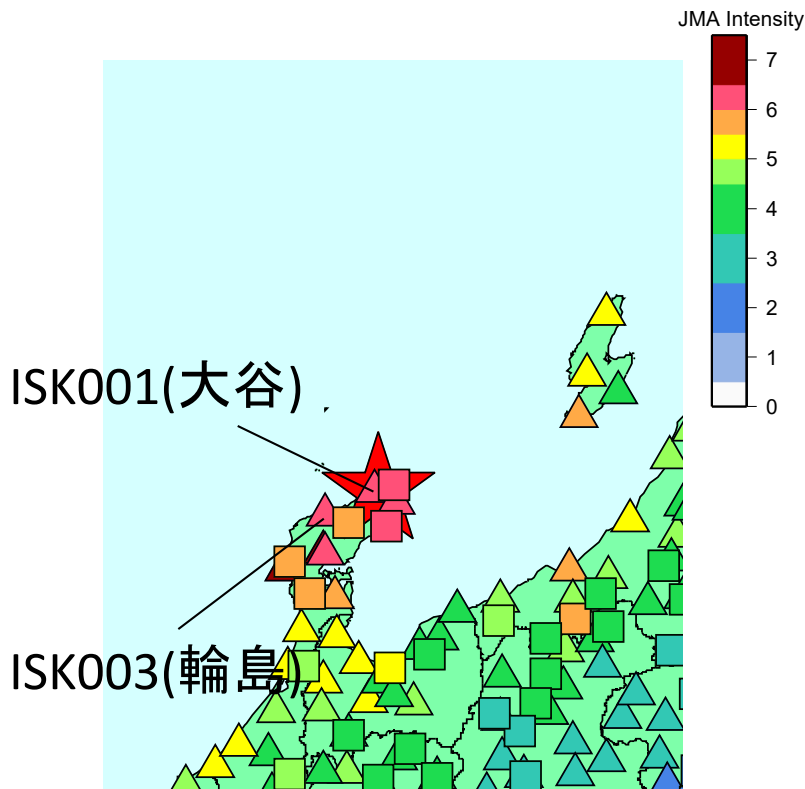
### ISK002(正院) 計測震度6.2



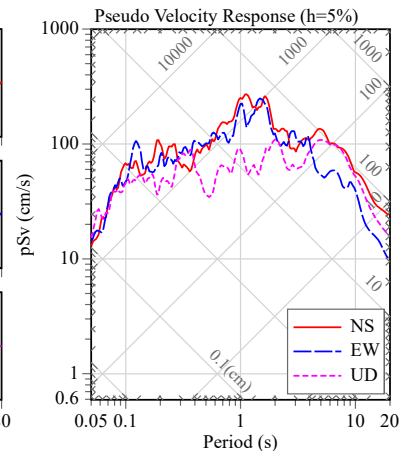
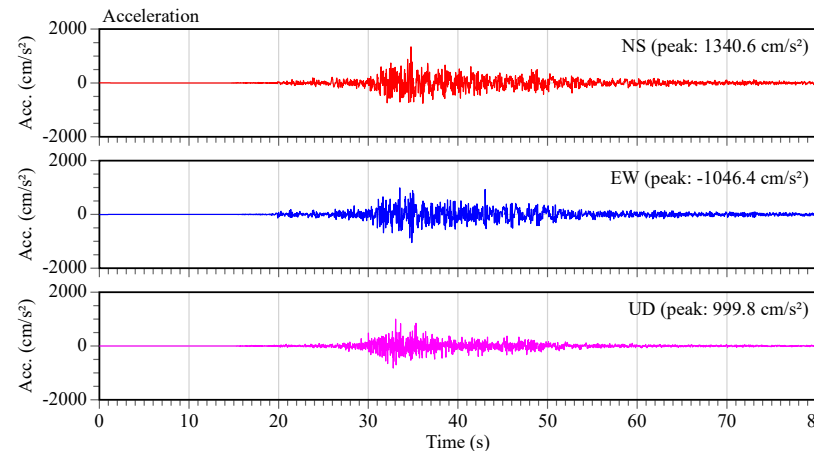
## 地震発生時刻(K-NET): 16時10分(3/5)

左図: 防災科学技術研究所のwebページよりダウンロード、編集  
 中央図、右図: 防災科学技術研究所のwebページよりデータダウンロード、作図  
 防災科学技術研究所のwebページ(<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/instan/>)

### ISK001(大谷) 計測震度6.2



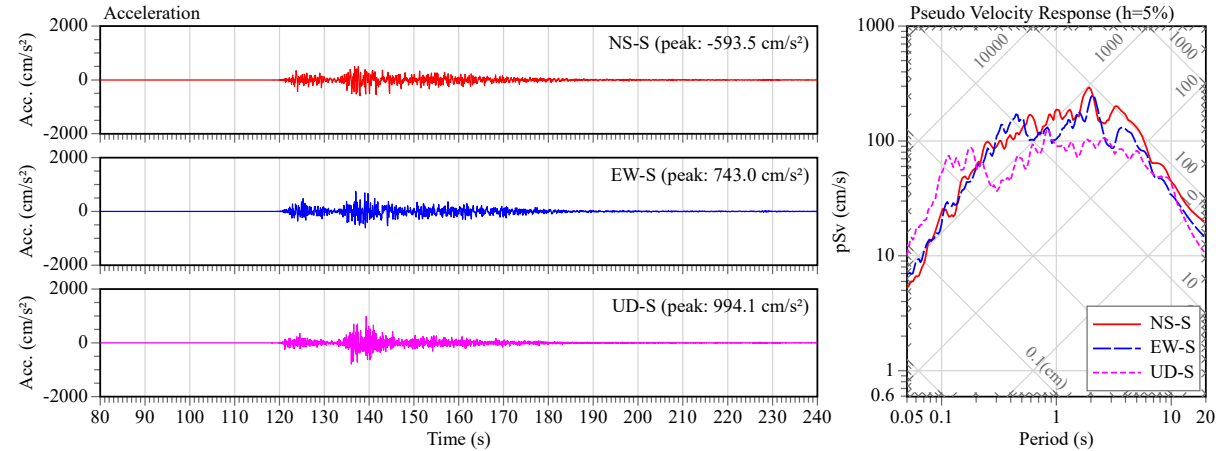
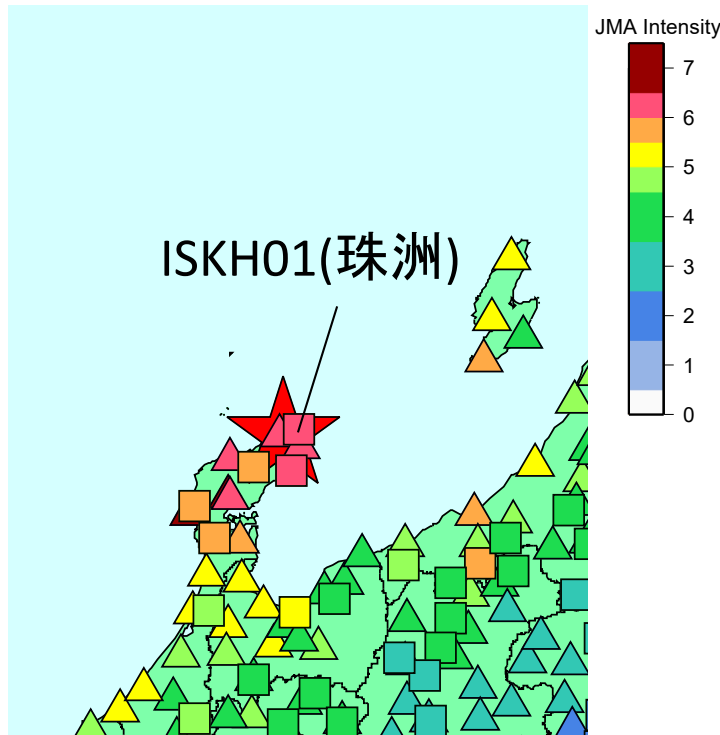
### ISK003(輪島) 計測震度6.2



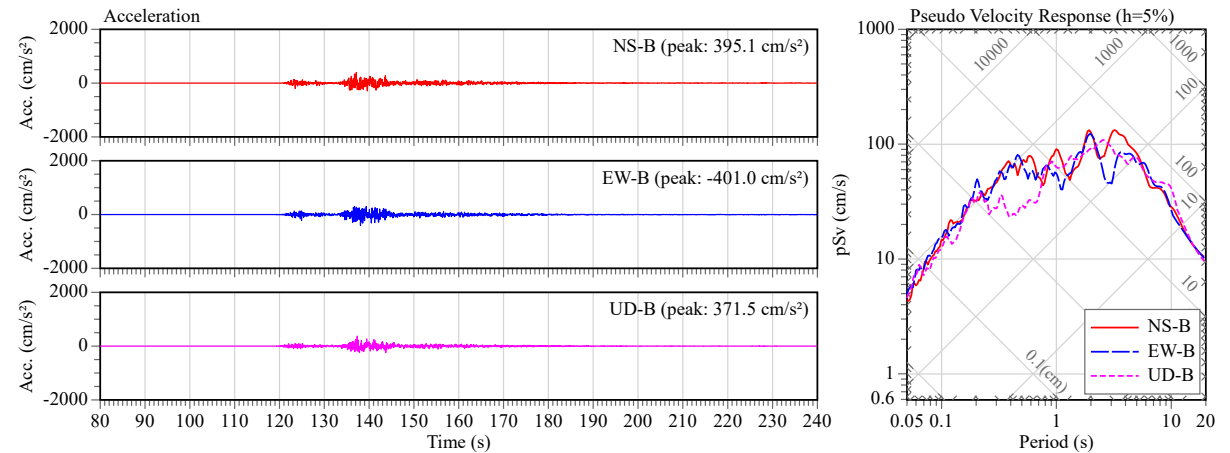
地震発生時刻(K-NET): 16時10分(4/5)

左図: 防災科学技術研究所のwebページよりダウンロード、編集  
 中央図、右図: 防災科学技術研究所のwebページよりデータダウンロード、作図  
 防災科学技術研究所のwebページ(<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/instan/>)

ISKH01(珠洲) 地表地震計 計測震度6.2



ISKH01(珠洲) 地中地震計

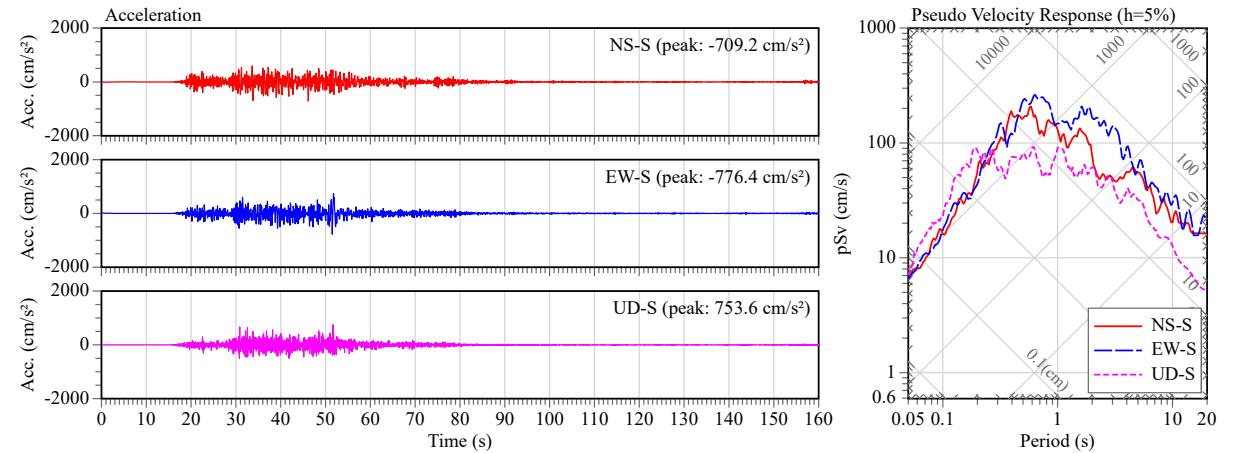
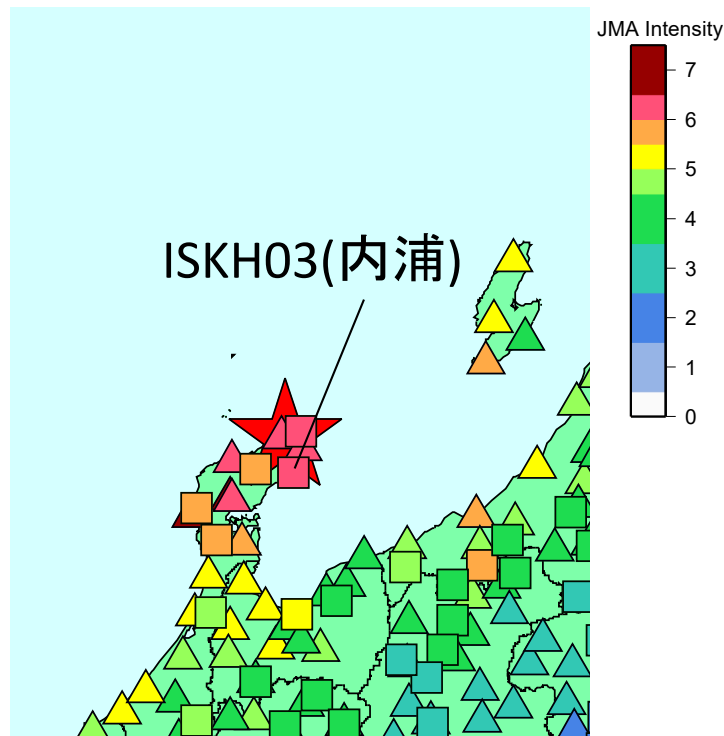




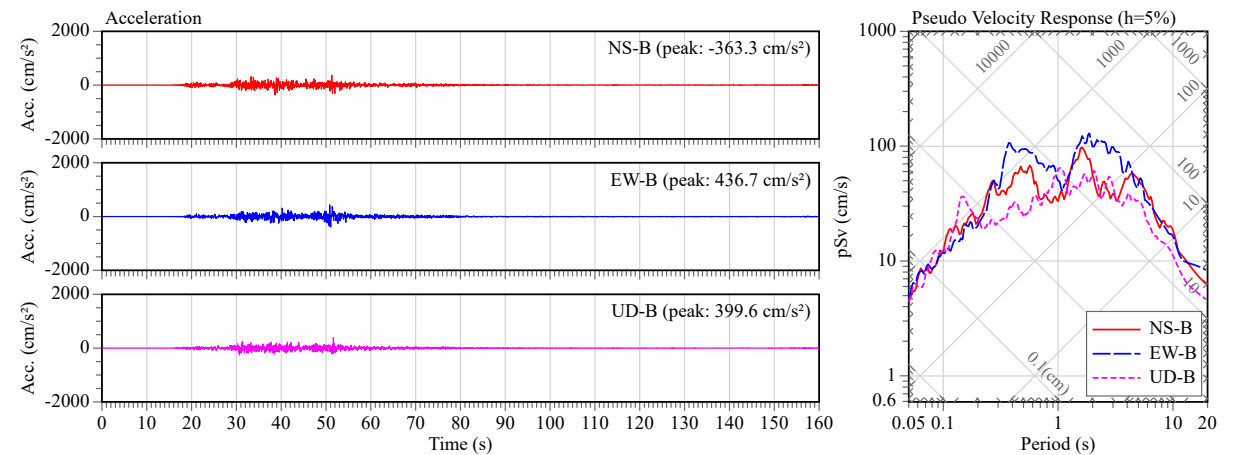
## 地震発生時刻(K-NET): 16時10分(5/5)

左図: 防災科学技術研究所のwebページよりダウンロード、編集  
 中央図、右図: 防災科学技術研究所のwebページよりデータダウンロード、作図  
 防災科学技術研究所のwebページ(<http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/instan/>)

### ISKH03(内浦) 地表地震計 計測震度6.3



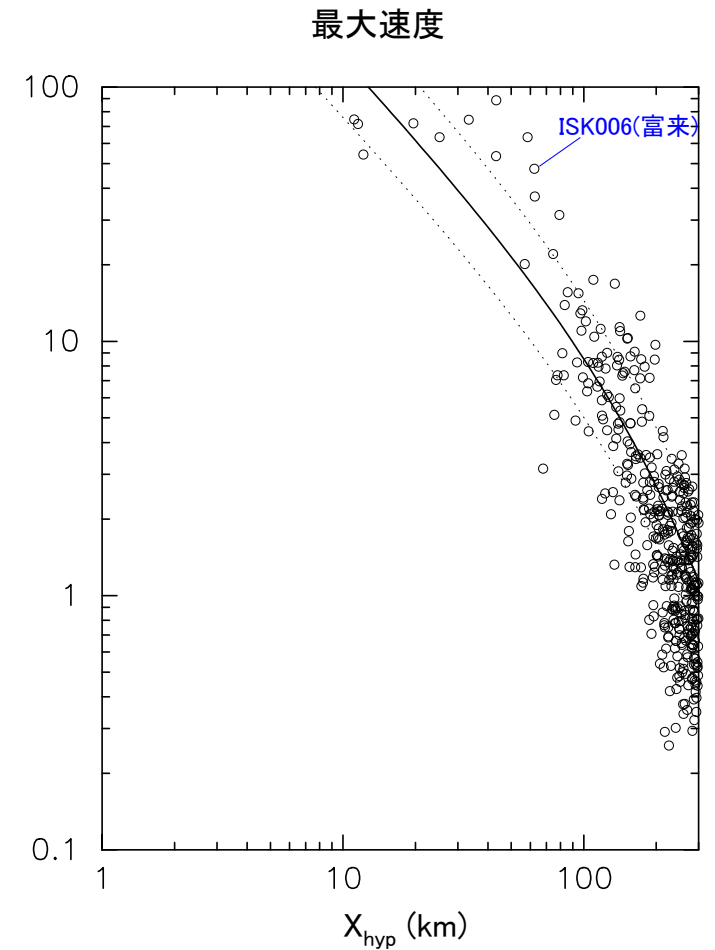
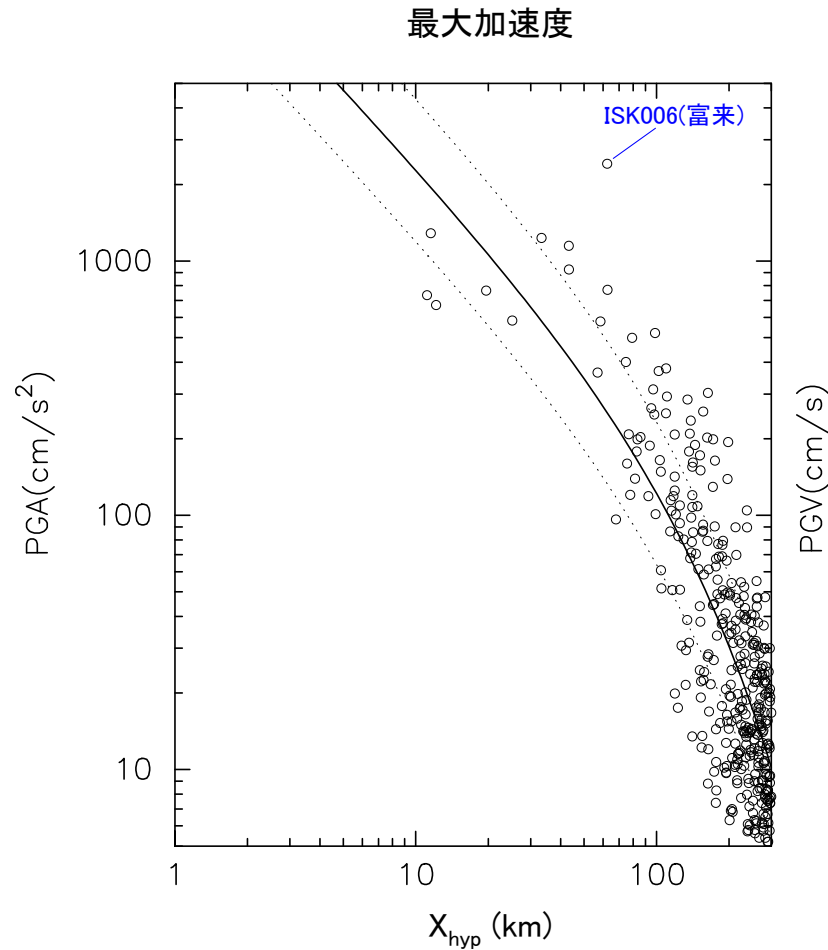
### ISKH03(内浦) 地中地震計



## K-NET・KiK-net 観測記録のPGA, PGVと司・翠川(1999)を比較

地震タイプ: 内陸地殻内地震  
Mw = 7.5 (USGS)  
距離: 震源距離  
(37.498, 137.242, 10.0 km)

記録: NS, EWの最大値  
フィルタ: 0.2~10 Hz  
AVS30: 考慮



## 長周期地震動の観測結果

### 【地震の概要】

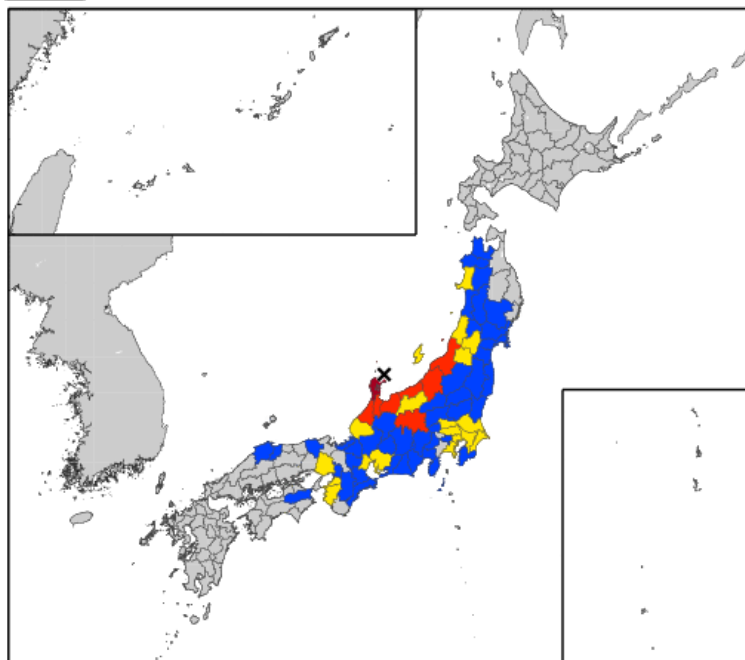
地震検知時刻 2024年01月01日 16時10分ごろ  
 震央地名 石川県能登地方  
 緯度 北緯37.5度  
 経度 東経137.2度  
 深さ ごく浅い  
 マグニチュード 7.6

### 【長周期地震動階級1以上が観測された地域】

長周期地震動階級4	石川県能登
長周期地震動階級3	新潟県上越 新潟県中越 新潟県下越 富山県東部 富山県西部

長周期地震動階級1以上が観測された地域

全国表示



### 観測点別詳細資料

都道府県  長周期地震動階級

都道府県名	地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
石川	石川県能登	七尾市本府中町	6弱	階級4
石川	石川県能登	志賀町富来領家町	6弱	階級4

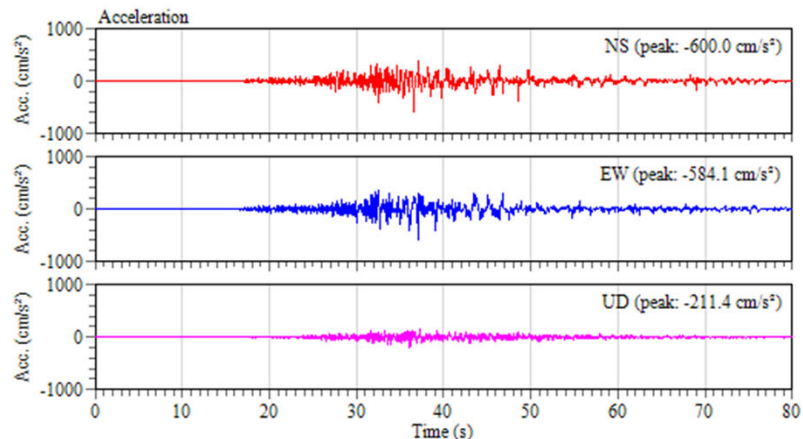
長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないうるなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

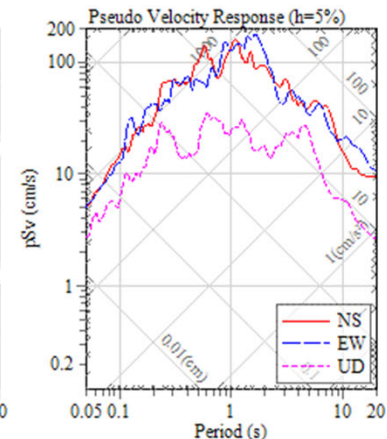
七尾市本府中町

震度6弱

長周期地震動階級4



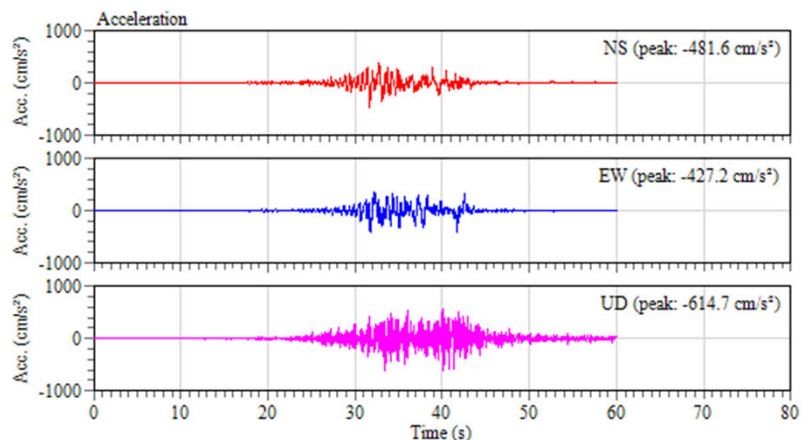
2024/01/01 16:10:10 at : 七尾市本府中町, Intensity: 5.8



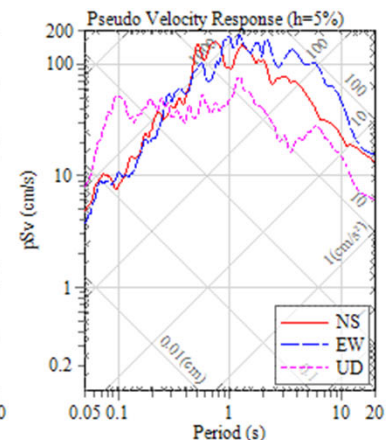
志賀町富来領家町

震度6弱

長周期地震動階級4



2024/01/01 16:10:10 at : 志賀町富来領家町, Intensity: 5.9



## 令和6年能登半島地震による被害及び 消防機関等の対応状況（第12報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和6年1月4日（木）7時00分  
消防庁災害対策本部  
※下線部は前回からの主な変更点

### 1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) ①発生日時 令和6年1月1日16時06分頃  
②最大震度 震度5強 石川県：珠洲市
- (2) ①発生日時 令和6年1月1日16時10分  
②最大震度 震度7 石川県：志賀町
- (3) ①発生日時 令和6年1月1日16時18分頃  
②最大震度 震度5強 石川県：七尾市、穴水町  
③津波の状況  
《大津波警報》  
・令和6年1月1日 16時22分発表 石川県能登  
→20時30分 津波警報へ切り替え 石川県能登  
《津波警報》  
・令和6年1月1日 16時22分発表 山形県、新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県加賀、  
福井県、兵庫県北部  
20時30分発表 石川県能登  
→1月2日 1時15分 津波注意報へ切り替え  
→1月2日 10時00分 発表されていた津波注意報は全て解除
- (4) ①発生日時 令和6年1月1日16時56分頃  
②最大震度 震度5強 石川県：穴水町
- (5) ①発生日時 令和6年1月1日17時22分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：珠洲市
- (6) ①発生日時 令和6年1月1日18時03分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：珠洲市
- (7) ①発生日時 令和6年1月1日18時08分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：珠洲市
- (8) ①発生日時 令和6年1月1日18時40分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：志賀町
- (9) ①発生日時 令和6年1月1日20時35分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：志賀町
- (10) ①発生日時 令和6年1月2日10時17分頃  
②最大震度 震度5弱 石川県：穴水町

- (11) ①発生日時 令和6年1月2日17時13分  
②最大震度 震度5強 石川県：志賀町
- (12) ①発生日時 令和6年1月3日 2時21分  
②最大震度 震度5強 石川県：珠洲市
- (13) ①発生日時 令和6年1月3日10時54分  
②最大震度 震度5強 石川県：輪島市

### 2 被害の状況

#### (1) 人的被害・住家被害

都道府県	人的被害						住家被害					
	死者 人	行方不明者 人	負傷者			合計 人	全壊 棟	半壊 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	一部 破損 棟	合計 棟
			重傷 人	軽傷 人	小計 人							
新潟県			1	25	26	26	1	10			409	420
富山県			3	33	36	36	2				7	9
石川県	73		25	153	178	251	146	20	6	5	29	206
福井県				6	6	6					45	45
岐阜県				1	1	1						
大阪府				2	2	2						
兵庫県				2	2	2						
合計	73		29	222	251	324	149	30	6	5	490	680

※石川県の公表情報において「多数」又は「確認中」と表記されている情報等は本表に反映していない

《死者の内訳》

【石川県】七尾市5人、輪島市39人、珠洲市23人、羽咋市1人、志賀町1人、穴水町2人、能登町2人

#### (2) 火災の発生状況（住家等）

【富山県】高岡市において、火災が発生し高岡市消防本部が活動を実施

→鎮火済み

【石川県】金沢市において、火災が発生し金沢市消防局が活動を実施

→鎮火済み

七尾市において、建物火災が発生し七尾鹿島消防本部が活動を実施

→鎮火済み

輪島市において、火災が発生し奥能登広域圏事務組合消防本部が活動中

→鎮圧判断

珠洲市において、火災が発生し奥能登広域圏事務組合消防本部が活動を実施

→鎮火済み

能登町において、建物火災が発生し奥能登広域圏事務組合消防本部が活動を実施

→鎮火済み

#### (3) 重要施設の被害

【新潟県】上越市の石油コンビナート等特別防災区域内において、小規模な火災が発生

→鎮火済み

- 今回の地震は、気象庁によれば**石川県能登地方(輪島の東北東30km付近)の深さ16km**で発生した**M7.6**の**北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型**
- 気象庁では、石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、その名称を「**令和6年能登半島地震**」と定めた
- 地震本部によれば、発震機構、地震活動の分布およびGNSS観測の解析から推定される震源断層は、北東-南西に延びる150km程度の主として南東傾斜の逆断層と考えられる
- **最大震度は気象庁で震度7**を観測(石川県の志賀町(しかまち))
- 消防庁によれば、人的被害は死者73名、重傷29名、軽傷222名、住家被害は全壊149棟、半壊30棟、一部破損490棟